



確かな学力の向上をめざして【4月】

いよいよ新しい学年がスタートします。年度の始まりにあたって、児童生徒が充実した学校生活を送れるように、教師が心がけなければならないことを再確認しましょう。

■教師の姿勢 4つのポイント

教師も生き生きと、子どもと一緒に楽しもう！

1 児童生徒との信頼関係を築く

- 一人一人の表情をよく観察し、些細な変化も見逃さないようにしましょう。
- 一人一人の心に寄り添うために、教師から意図的に声かけをしましょう。
- 話をする時は「聞き上手」を心がけ、まず児童生徒の気持ちを受け止めましょう。
- 日々、児童生徒に指導していることが自分ではできているかを振り返りましょう。

2 責任感と緊張感を持って授業に臨む

- 児童生徒の実態を把握し、単元全体を見通しながら、どのような資質・能力の育成をめざすのかを明確にした授業づくりを進めましょう。
- 児童生徒が対話を通してお互いに高め合うことができる授業を目指しましょう。
- 授業後や単元終了後に、めざす資質・能力が育成できているかどうかを振り返り、授業改善につなげましょう。
- 校内で気軽にお互いの授業を参観し合い、同僚の実践から学び合いしましょう。
- エキスパート教員の公開授業など、よい授業を見る機会を自ら求めていきましょう。

3 組織としての対応を心がける

- 学校全体として取り組むと決めたことは、全職員で必ず実践しましょう。
- 小さなことでも「報告・連絡・相談」し、組織で対応するようにしましょう。
 - ・情報を共有することで一人の児童生徒を複数の視点で捉えることができます
 - ・相談して複数で考えることで、より良い解決方法が見つかります
- 会議や研修等で、メモをとる習慣を身につけましょう。（「記憶」より「記録」）

4 社会人としての自覚を常につ

- 公務員としての立場を自覚し、TPOに応じて身なりを整えましょう。
- 保護者や地域の方と接する際は、相手の立場に立った対応を心がけましょう。
- 児童生徒にとって、よい大人のモデル（ロールモデル）になりましょう。
 - ・「丁寧な言葉使い」、「時間を守る」、「清潔な服装」等

